

第三回全沖縄国連先住民族勧告撤回大会

名刺広告、ご協賛のお願い

去る5月12日に靖国会館で開催しました、沖縄県祖国復帰47周年靖国集会「青年弁論大会」は、皆様の多大なるご支援のお陰を持ちまして、青年のレベルの高い演説に感動のもと盛会に終えることができました。また受賞された皆様も大変喜ばれて、参加された皆様も改めて、沖縄県祖国復帰の来年は更なる盛り上がりを見せそうです。

さて、沖縄県祖国復帰の記念集会で、沖縄を中心に日本民族の誇りと一体感を確認した直後から、沖縄フォーラムでは、新たな国連先住民族勧告撤回運動の展開をはじめました。まず、全国の約1700の市区町村に、先住民族勧告撤回の陳情書を提出しました。現在、13の自治体での意見書の採択を実現しております。また、7月1日から10日にかけてカリフォルニア在住の沖縄県人の池原俊一さんと共にジュネーブの国連人権理事会に先住民族勧告撤回の要請活動をしてまいりました。ハワイの日系人口バート梶原氏が、日本軍による琉球人14万人大虐殺発言をする中、人権理事会に意見書を提出するとともに、別途各国のNGOのメンバー30名を招いて、シンポジウムを開催し論破いたしました。また、この先住民族勧告は太平洋覇権の獲得を狙うチャイナの一つの軍事戦略であることを説明し、世界をチャイナに支配させないために阻止するべき各国共通の課題であることを共有いたしました。

さて、8月18日には、沖縄県全ての市町村にて、国連勧告の撤回の意見書を目指して、第3回全沖縄国連先住民族勧告撤回大会を開催いたします。今回は、元北海道議でアイヌ問題の第一人者の小野寺まさる氏を招いて、アイヌを含めた日本民族の分断工作の全貌を明らかに上で、これから、沖縄の果たすべき重要な役割を考えたいと思っております。そこで、出費ご多端の折、甚だ恐縮に存じますが、協賛広告・ご協賛金へのご協力を重ねてお願いいたします。末筆でございますが、皆様の益々のご健勝を心よりご祈念申し上げます。

平成31年7月吉日

一般社団法人日本沖縄政策研究フォーラム

理事長 仲村 寛

～伝えよう祖国復帰の真実～ 「青年弁論大会」 (令和元年5月12日)

優勝
神谷龍24歳



「国民同胞感と祖国防衛の精神の恢復を目指して」

私にとって憲法改正とは、決して自衛隊明記に留まるものではなく、国民同胞感と祖国防衛の精神を恢復する「国民精神の立て直し」であり、沖縄戦、祖国復帰に連なる日本を守る戦いです。

準優勝
小西沙紀25歳



「沖縄を守る日本人が忘れてはいけないこと」

戦後壊滅状態だった、復興不可能だと思われた日本がここまで裕福な国になったのは、私達の先祖が経済の発展のために努力をし、日本人としての道徳心を受け継いでくださったからです。

第三位
池澤盛之38歳



「日本民族にとっての沖縄」

私は、沖縄は正に日本の縮図であると考えます。戦後日本が抱える様々な問題が沖縄に重く重く横たわり続けているからです。祖国日本を取り戻す為、日本民族一体となり太陽のように大いなる国に変えてゆきませんか。

各国NGOを招いてのシンポジウム「問題だらけの国連先住民族勧告」 (令和元年7月9日)



第3回全沖縄県 撤回大会 国連先住民勧告



一般社団法人
日本沖縄政策研究フォーラム
Okinawa Policy Research Forum of Japan

8.18SUN

第一部

アイヌ民族の先住性について 小野寺 まさる氏



チャンネル北海道
キャスターとして
大活躍中!

2018年の2月8日放送の
虎ノ門ニュースに出演!!
北海道の領土買収について
詳しく説明されています!

前北海道議会議員。

2003年北海道議員選挙に帯広市から初当選。

北海道議会では総合政策委員会委員長や北方領土対策特別委員会委員などを歴任。

3期12年で道議を勇退し、充電中。

外国資本の水源・国土買収、アイヌ政策、NPO等の税金搾取、募金ビジネス、外国人への生保や国保適用等の偏向政策問題、太陽光発電政策の問題、国防・安全保障・・・等々の問題を啓発中



第二部

琉球先住民撤回、国連活動報告

仲村 覚氏

ジュネーブ行ってきました!

日本沖縄政策研究フォーラム理事長、ジャーナリスト。

昭和39年、那覇市生まれ。埼玉県在住。

陸上自衛隊少年工学校（横須賀）入校後、航空部隊に配属。退官後の平成21年、沖縄が中国の植民地になるという強い危機感から民間団体『沖縄対策本部』（現日本沖縄政策研究フォーラム）を設立し活動中。近著に『沖縄はいつから日本なのか』（ハート出版）。



令和元年8月18日(日) 開演13時(開場12時)

沖縄船員会館

沖縄県那覇市前島 3-25-50

問合せ先 070-5410-1675(仲村)



グーグルでナビ!

お申込書

第3回全沖縄県国連先住民勧告撤回大会

協賛広告、ご協賛金は8月18日の「全沖縄国連先住民族勧告撤回大会」パンフレット掲載します。

【協賛広告サイズと金額】

当日配布のパンフレットに以下ののサイズで広告を掲載させていただきます。

広告サイズ	1頁	3/4頁	1/2頁	1/4頁(A)	1/4頁(B)	3/16頁	1/8頁	1/16頁
金額	80.000円	60.000円	40.000円	20.000円	20.000円	15.000円	10.000円	5.000円
注文欄								

※ご注文するサイズの注文欄「○」を記入下さい

【御協賛金】

◎御協賛金（ ）口として（1口3000円）

ご希望の方は当日のパンフレットに芳名を記載させていただきます。

協賛金として御の芳名のの記載（可・不可） 囲み無しの場合不可と判断させていただきます。

国連先住民族勧告撤回基金

全ての自治体で勧告撤回を求める意見書の提出を実現する陳情・請願活動

日本民族分断阻止！

沖縄の人々は日本人だ！

◎国連先住民族勧告撤回基金（ ）口として（1口2000円）

合計 円也

平成31年 月 日

ご住所

ご芳名

御電話番号

E-mail

事務局FAX：098-993-7609 098-869-9827

協賛広告・ご協賛金・勧告撤回基金 お申込み手順

(1) 申込書をFAX送信

前ページの「お申込書」に必要事項を記入の上FAXを送り下さい

⇒FAX番号： 098-993-7609 098-869-9827

パンフレットへの掲載への掲載がある場合> 締切：令和元年8月5日(月)

パンフレットへの掲載への掲載が無い場合> 締切：令和元年8月15日(木)

(2) 名刺広告の原稿のご提供

(名刺広告お申込みの方のみ)

締切：令和元年8月5日(月)

＜文字のみ掲載の場合＞

前ページの「お申込書」に必要事項をご記入の上FAXでお送り下さい。

⇒FAX番号： 098-993-7609 098-869-9827

＜ロゴなどのデザインを含む場合＞

同封の「名刺原稿」のサイズを参考にしてPCにて原稿を作成し、メールにて原稿、版下の送信をお願いします。

E-mail:satoru.nakamura7@gmail.com

(3) 送金方法

下記のゆうちょ銀行の口座にご送金をお願い致します。

締切：令和元年8月15日(木)

【銀行からお振り込みの場合】(※店名はカタカナで入力して下さい。)

銀行名	ゆうちょ銀行	口座番号	767319
店名	〇一九店 (ゼロイチキューウ)	口座名称	般社団法人 日本沖縄政策研究フォーラム (シヤ) ニホンオキナワセイサク ケンキュウフォーラム
預金種目	当座		

【ゆうちょ銀行からお振り込みの場合】

記号番号	00130-0-767319
------	----------------

1/16 5,000 円	1/16 5,000 円	1/16 5,000 円	1/16 5,000 円
1/8 10,000 円		1/8 10,000 円	
3/16 15,000 円			1/16 5,000 円
1/4A 20,000 円			

1/2
40,000 円

1/4 (B)
20,000 円

1/4 (B)
20,000 円

60,000 円
3/4

1/16
5,000 円

1/16
5,000 円

1/16
5,000 円

1/16
5,000 円